

\*受講にあたっては、タイムテーブルに変更等が生じていないか、学問祭ウェブサイトで事前確認してください

## タイムテーブル

対面+遠隔授業 遠隔授業

対面+遠隔授業：教室で実施（オンラインでも同時配信） 遠隔授業：オンラインで実施（教室での授業はありません）

	2コマ 10時45分～12時15分	3コマ 13時05分～14時35分	4コマ 14時50分～16時20分	
8/23金	<b>研究を楽しむ</b> —私の人工知能とロボットの研究を通して— 講師：金出武雄 <sup>※</sup> （カーネギーメロン大学ロボット研究所）	<b>社会化と相互行為から人間を考える</b> 講師：粕谷圭佑（奈良教育大学）	<b>声楽って何？</b> 講師：水野亜歴（奈良教育大学）	奈良教育 大学会場
8/24土	<b>奈良の建築からアジアをみる</b> 講師：鈴木智大（奈良文化財研究所）	<b>博物館で広がる考古学研究の世界</b> 講師：中川あや（奈良国立博物館）	<b>素粒子を見る工夫・素粒子から見る世界</b> 講師：宮林謙吉（奈良女子大学）	奈良教育 大学会場
8/25日	お休み (単位履修外の自由参加企画を実施する場合は学問祭ウェブサイトでお知らせします)			
8/26月	<b>EUの機構と政策決定</b> —加盟国を代表する閣僚理事会を中心に— 講師：橋田力（奈良女子大学）	<b>子宮頸がんと組紐の歴史</b> 講師：森野ひとみ（奈良教育大学）	<b>「国風」と「和風」</b> 講師：西村さとみ（奈良女子大学）	終日 オンライン
8/27火	<b>日本住宅建築における、ミニマルな美意識とその歴史</b> 講師：坂井禎介（奈良女子大学）	<b>科学の目で見える奈良時代の建築彩色</b> 講師：青木智史（奈良教育大学）	<b>遺伝学、逆遺伝学</b> —あるいは日本と米国— 講師：塩崎一裕 <sup>※</sup> （奈良先端科学技術大学院大学学長）	奈良女子 大学会場
8/28水	<b>南極氷床変遷史を東南極から見る</b> 講師：高田将志（奈良女子大学学長）	<b>学際研究のすすめ</b> 講師：浅田尚紀（奈良県立大学前学長）	<b>新たな宇宙X線望遠鏡で解明する激動の宇宙</b> 講師：信川正順（奈良教育大学）	奈良女子 大学会場
8/29木	<b>スピノフDAY ～学問祭ならではの交流や知的刺激を追求する企画の日～</b> (単位履修外の自由参加イベント。内容は決定次第、学問祭ウェブサイトの「関連イベント」にアップします。)			
9月下旬 予定	<b>学問祭レポート合評セッション ～詳細は学問祭ウェブサイトにて～</b> 「諸学への誘い」への課題レポートのうち自薦・他薦のエントリー作品をみんなで読みあう自由参加のイベントです			

※：奈良国立大学機構アドバイザーボードメンバー



## 会場キャンパスへのアクセス

奈良教育大学 バス停「高畑町」から徒歩1分



奈良女子大学 近鉄奈良駅1番出口から徒歩約5分



\*講義をおこなう教室については学問祭ウェブサイト等で告知します。

国立大学法人  
奈良国立大学機構

奈良教育大学 教務課 教務係  
〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 TEL.0742-27-9124  
E-mail. kyoumu-tanto@nara-edu.ac.jp



奈良女子大学 学務課 学務係  
〒630-8506 奈良県奈良市北屋屋西町 TEL.0742-20-3233  
E-mail. gakumukakari@jimu.nara-wu.ac.jp



# 教養科目\*「諸学への誘い」

2024年度 開講案内パンフレット

知る喜び、考える楽しみ、祝祭だ！

学問祭2024

学問祭2024

2024年8月23日(金) - 29日(木)

主催 国立大学法人 奈良国立大学機構  
奈良教育大学×奈良女子大学

会場 両大学にてリレー開催およびオンライン

\*奈良教育大学では「教養科目」、奈良女子大学では「教養科目群」として単位認定



# 学問祭

## 2024

### 学問祭って何？

学問の面白さや奥深さを感じることでできる真夏の1週間。さまざまな分野の専門家が1コマずつ登場します。興味や関心を深めるもよし。新しい分野の扉を叩くもよし。うまく組み合わせて受講すれば、自分なりの知的世界を構築するためのヒントや刺激にきっと出会えます。

### 履修登録しない聴講もOK？

はい。「単位取得は不要だが、ぜひ聴講したい講義がある」といったケースも歓迎です。大学院生や教職員もOKです。参加方法等は、学問祭HPにて確認ください。

### 単位になるの？

はい。奈良教育大学生は教養科目「諸学への誘いA」(2単位認定)もしくは「諸学への誘いB」(1単位認定)を、奈良女子大学生は教養教育科目「諸学への誘い」(1単位認定)を履修登録してください。前科科目です。昨年度以前に履修済の人でも新たに単位認定されます。

### 履修や単位認定の方法は？

全講義のうちから自由に8コマ以上を受講し、レポート(下記※参照)を作成して、単位が認定されます。2単位型履修である「諸学への誘いA」の単位認定方法は教育大生向けに別途お知らせします。

※レポート課題=受講した講義から2つを選び(3つ以上も可)、それらを自分なりに俯瞰し、関連づけたり融合させたりすると見えてくるものについて自由に論じたレポートを1本提出。

### 開講形態は？

### 教室はどこ？

学問祭HP



奈良国立大学機構に属する奈良教育大学と奈良女子大学の共通科目として両大学生が履修します。会場となるキャンパスや各講義の開講形態については裏面のタイムテーブルを見てください。オンライン受講も可能です。

対面+遠隔授業：教室で実施(オンラインでも同時配信)

遠隔授業：オンラインで実施(教室での授業はありません)

8/24土  
2コマ

### 奈良の建築からアジアをみる

講師：鈴木智大(奈良文化財研究所)

不動産である建築は容易に動かすことができませんが、奈良の古建築をよくみると、まるでアジアを旅してきたかのようなデザインをまっています。奈良の古建築を通して、アジアを覗いてみましょう。

8/24土  
3コマ

### 博物館で広がる考古学研究の世界

講師：中川あや(奈良国立博物館)

考古学者というと、遺跡で発掘調査にたずさわっている人のイメージがあるかもしれませんが、博物館にも考古学者はいます。遺跡を掘るのではない、博物館ならではの考古学研究の実際をご紹介します。

8/24土  
4コマ

### 素粒子を見る工夫・素粒子から見る世界

講師：宮林謙吉(奈良女子大学)

高エネルギー加速器により素粒子を研究する大型実験は、研究対象が場の量子論が記述する100京分の1mという極微のサイズでありながら、高性能材料やデバイス、高速電子回路、大規模コンピューティングまであらゆるテクノロジーを動員します。それを通して「目が開かれた」心持ちを味わった喜びをお届けします。

8/26月  
2コマ

### EUの機構と政策決定

—加盟国を代表する閣僚理事会を中心に—

講師：橋田力(奈良女子大学)

欧州連合(EU)において従来の国際機関を超えた権限を持つ欧州委員会と加盟国の担当大臣から構成される閣僚理事会との相互作用により先駆的な政策が形成されており、日本にも影響を及ぼしている。本講義ではEUの機構と主に閣僚理事会の政策決定について説明する。

8/26月  
3コマ

### 子宮頸がん和組紐の歴史

講師：森野ひとみ(奈良教育大学)

子宮頸がんが20歳代の若者の多くにおいて急増しているため、基礎知識を教え、組紐を使った子宮頸がん用細胞採取ブラシ(個人特許出願中)を見せ、組紐の歴史を講義する。

8/26月  
4コマ

### 「国風」と「和風」

講師：西村さとみ(奈良女子大学)

「国風」と「和風」「日本風」は同じでしょうか。「国風文化」という歴史用語を思い起こせば、同じであるといえそうですが、必ずしもそうではありません。そのような「国風」を緒として、日本的なるものの変容の過程を追うとともに、文化史の研究方法について考えていきます。

8/27火  
2コマ

### 日本住宅建築における、ミニマルな美意識とその歴史

講師：坂井禎介(奈良女子大学)

日本人は、ミニマルなデザインを好む傾向がある。これは現代に限った話でなく、中世に軽快な住宅建築が多い。その源流には、ミニマルな暮らしを営む隠遁者への憧れや、家の周囲の庭や自然を楽しむ傾向が見えてきた。その軽快な日本の住宅の流れやその奥に込められた思想背景を紹介する。

8/27火  
3コマ

### 科学の目で見る奈良時代の建築彩色

講師：青木智史(奈良教育大学)

国宝薬師寺東塔は奈良時代から現存する建造物で、室内には建築当初からの彩色が残されている。2009年から行われた全面解体修理では彩色部材の詳細な調査が実施され、奈良教育大学の調査チームは様々な科学的調査を実施した。明らかになった事実を紐解きながら、魅力的な奈良時代の建築彩色を見ていきたい。

8/27火  
4コマ

### 遺伝学、逆遺伝学

—あるいは日本と米国—

講師：塩崎一裕\*(奈良先端科学技術大学院大学学長)

生物のゲノムDNA解析が進むにつれ、遺伝学と共に逆遺伝学という研究手法も盛んに使われています。自身の酵母研究を例にその違いを解説するとともに、米国大学での経験から日米の高等教育の違いの考察も試みます。

8/28水  
2コマ

### 南極氷床変遷史を東南極から見る

講師：高田将志(奈良女子大学学長)

地球規模の環境変動に関心が高まりつつある現在、以前にも増して、南極の自然環境についても大きな関心が寄せられるようになってきました。本講では、講演者も関わった東南極氷床変遷史の解明に関わる研究の一端を紹介しつつ、今後の研究課題について触れたいと思います。

8/28水  
3コマ

### 学際研究のすすめ

講師：浅田尚紀(奈良県立大学前学長)

学問分野の高度化と細分化が進む一方で、現代社会の複雑かつ多様な課題の解決には学問領域の異分野融合や領域横断のアプローチが期待されています。工学部と医学部における研究経験から学際研究の魅力を紹介し、AI・データサイエンスが学際研究を促進する可能性について解説します。

8/28水  
4コマ

### 新たな宇宙X線望遠鏡で解明する激動の宇宙

講師：信川正順(奈良教育大学)

2023年9月7日、新しい宇宙X線望遠鏡 XRISM(クリズム)が種子島宇宙センターから打ち上げられました。およそ3ヶ月間の準備期間を経て、現在はブラックホールや銀河団など宇宙の様々な天体を観測しています。本講義ではXRISMにより得られた宇宙観測の新しい成果を解説します。

※：奈良国立大学機構アドバイザーボードメンバー

